



澤 芳樹

一般財団法人 未来医療推進機構 理事長

社会医療法人 大阪国際メディカル&サイエンスセンター 理事長 ・ 大阪けいさつ病院 総長

大阪大学名誉教授 /第 32 回日本医学会総会 会頭

1980 年大阪大学医学部卒業。1989 年フンボルト財団奨学生として、ドイツの Max-Planck 研究所心臓生理学部門、心臓外科部門へ留学。大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科主任教授、同医学部長・医学系研究科長を歴任。その間、同附属病院の未来医療センター長や国際医療センター長として、次世代医療の実装を牽引した。2020 年に紫綬褒章を受章。産学官連携功労者表彰 厚生労働大臣賞、日本医師会医学賞など受賞多数。心臓血管外科および再生医療分野における世界的権威。2027 年 4 月の第 32 回日本医学会総会 会頭。

澤 芳樹先生は、未来医療推進機構の理事、大阪国際医療・サイエンスセンター理事長、大阪けいさつ病院院長、ならびに 2027 年に開催される第 32 回日本医学会総会の会頭を務めている。

1980 年に大阪大学医学部を卒業後、大阪大学医学部胸部外科学教室に入局し、臨床および研究のキャリアを開始した。1987 年には大阪大学にて医学博士号を取得。1989 年から 1991 年まで、ドイツのマックス・プランク研究所 心臓生理学・心臓外科部門において、フンボルト財団研究員および臨床フェローを務めた。

帰国後は、大阪大学の心臓血管外科において、助手、講師、助教授、教授、心臓血管外科学主任教授などを歴任。また、大阪大学医学部長および大学院医学系研究科長を務めた。大阪大学医学部附属病院では、未来医療センターおよび国際医療センターの長として、次世代医療の推進に重要な役割を果たした。

澤先生は、心臓血管外科医であり、先端心血管医療および再生医療分野を牽引する第一人者である。心不全、心臓移植、補助人工心臓、心臓血管外科における新技術、ハイブリッド心血管手術、低侵襲心血管手術、再生医療など、幅広い分野で臨床・研究の発展に貢献してきた。これまでに 500 本を超える学術論文を発表し、被引用数は 14,500 件を超えている。

また、日本循環器学会理事長、日本再生医療学会理事長、日本胸部外科学会理事長など、主要な学会においても要職を歴任している。

医学、研究、産学官連携への卓越した貢献により、産学官連携功労者表彰 厚生労働大臣賞、日本医師会医学賞、日本オープンイノベーション大賞、日本学士院会長賞、日本医師会最高優功賞など、数多くの賞を受賞。2020 年には紫綬褒章を受章した。

現在も、各種のリーダーシップを通じて、未来医療の社会実装と、日本および国際的な医療イノベーション・エコシステムの発展を推進している。

10 月 22 日 (木) 10:00

開会挨拶、Nakanoshima Qross の紹介